

「新興市場等の信頼性回復・活性化策に係る協議会・
部会」資料(2011年3月31日)

【ベンチャービジネスと新興市場を目指すベンチャー企
業の状況】



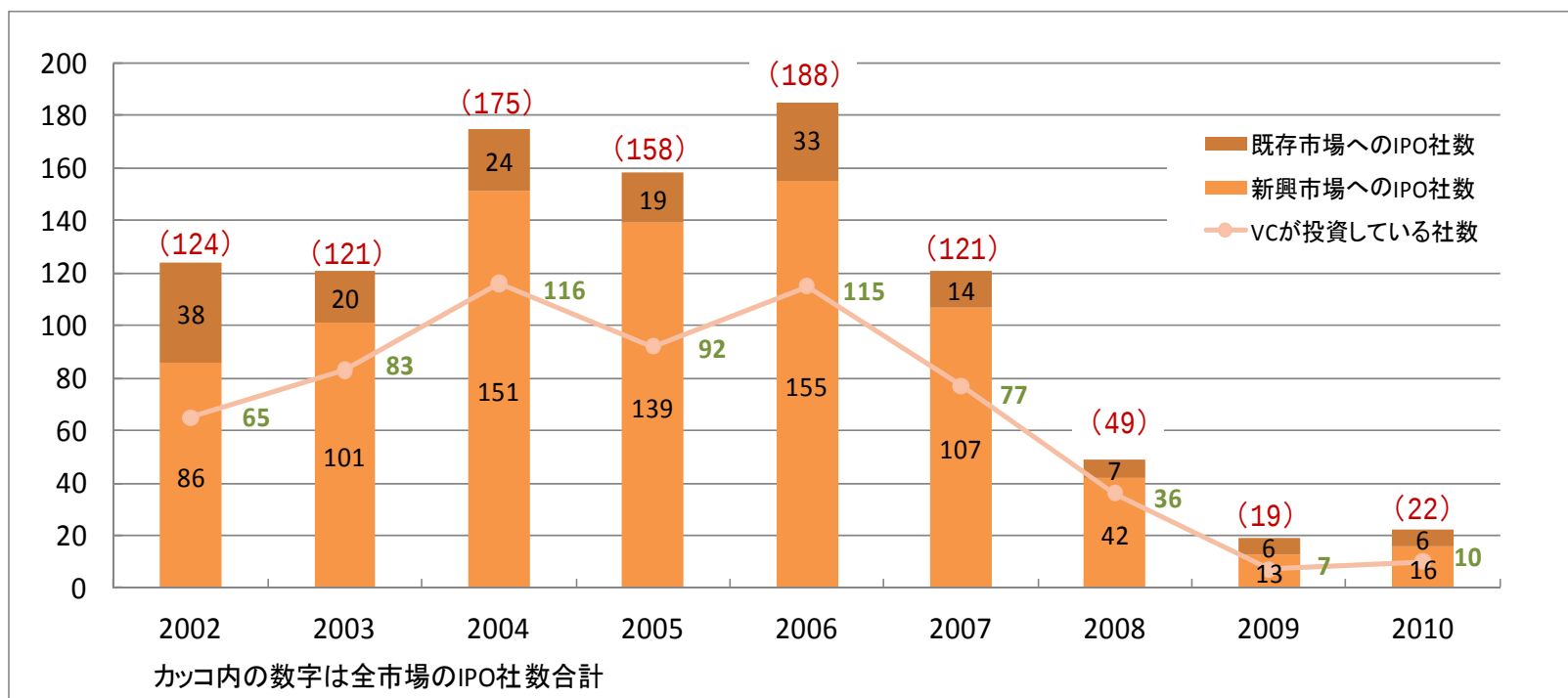
財団法人ベンチャーエンタープライズセンター

I. 試練に耐える我が国ベンチャービジネス

1. 新興市場を巡る課題

1978年以来最低となった昨年2009年からの回復が期待されたが、2010年のIPO社数は22社と結果的には依然超低空飛行からは上昇しきれていない。昨年度新興市場の課題として指摘・改善を求めた項目の成果は道半ばであり、来年度に対する予測も慎重な見方が強い。

＜図表1＞IPO社数の推移



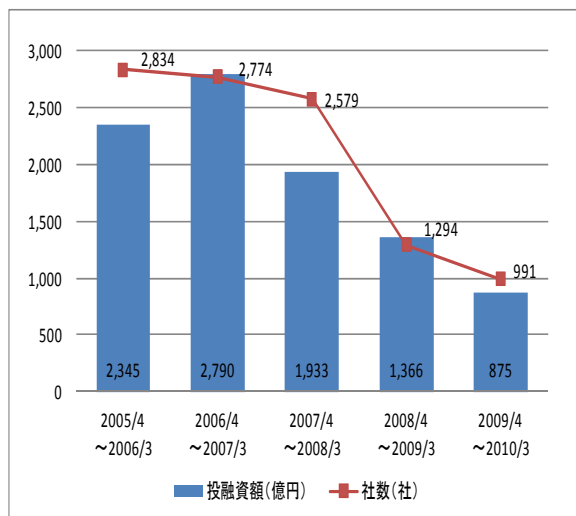
(出所: 2009年報告書・東京IPO、VEC作成)

2. VC投資(1)

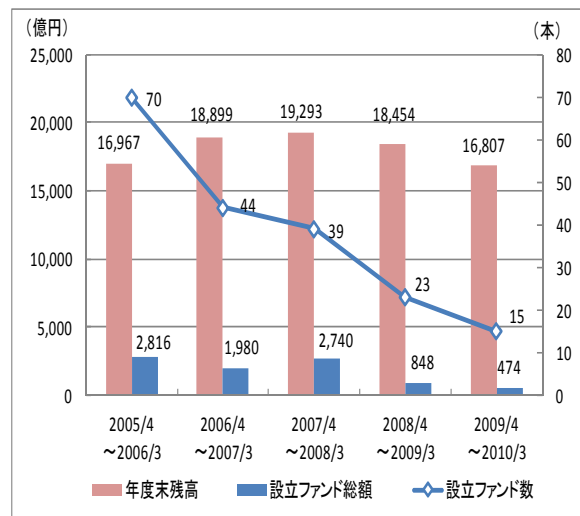
ベンチャー投融資

IPOを主要な投資回収と収益実現の手段としてきた我が国VCのビジネスモデルは、IPO低迷で出口を失い投資資金回収が困難を極めたことに加え、VC自身の業績悪化により投資は更に落ち込んだ。2009年度来VC各社は大きく経営の舵を切っているが、方向転換の実績が現れるにはまだ暫くの時間を要する。

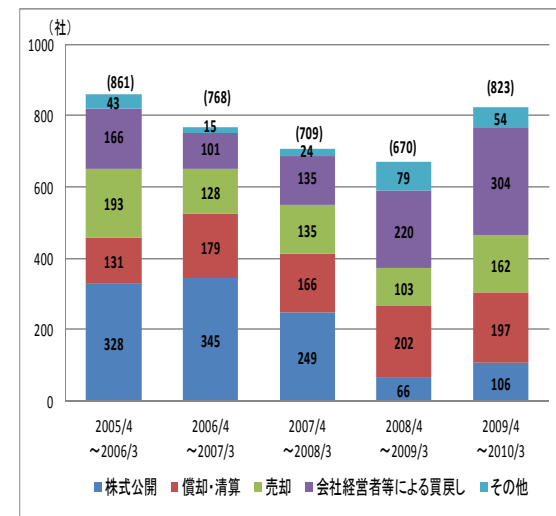
＜図表2＞VC年間投融資額



＜図表3＞ファンド組成数・総額



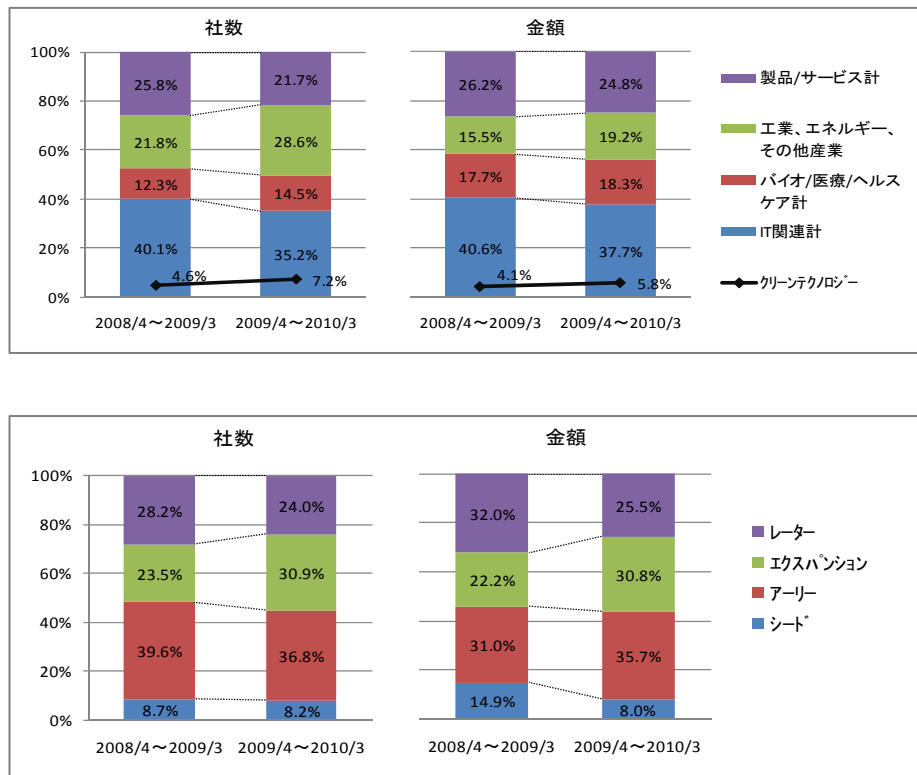
＜図表4＞イグジット件数の推移



(出所: VEC各年投資動向調査)

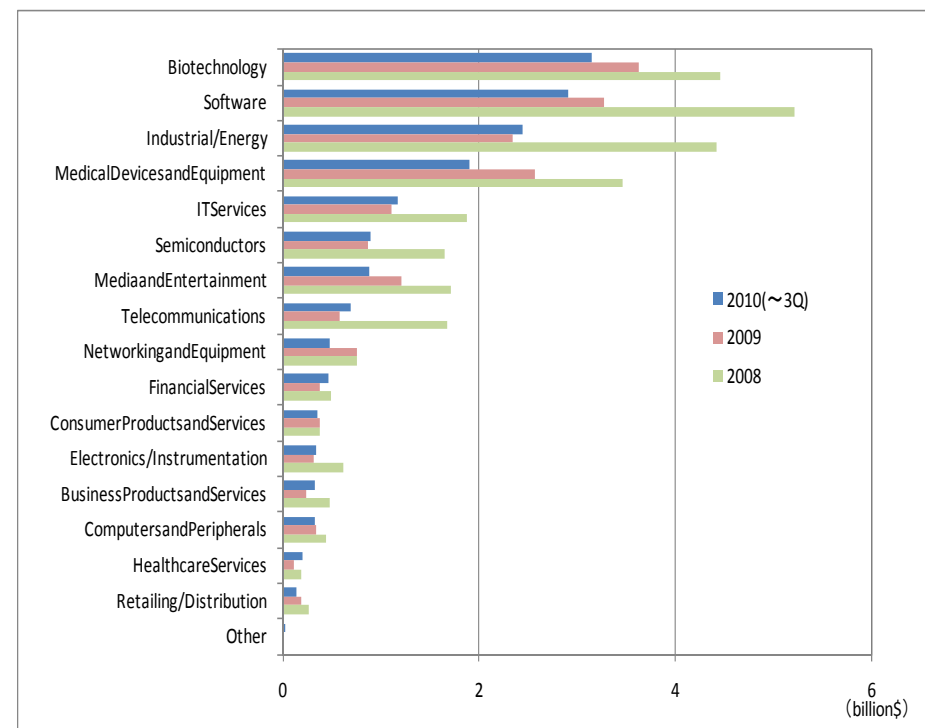
2. VC投資(2) ベンチャー投融資

＜図表 5＞国内VCの
新規投資先構成比(業種・ステージ)



(出所: VEC各年投資動向調査)

＜図表 6＞米国VCの
業種別投資金額(総投資額)

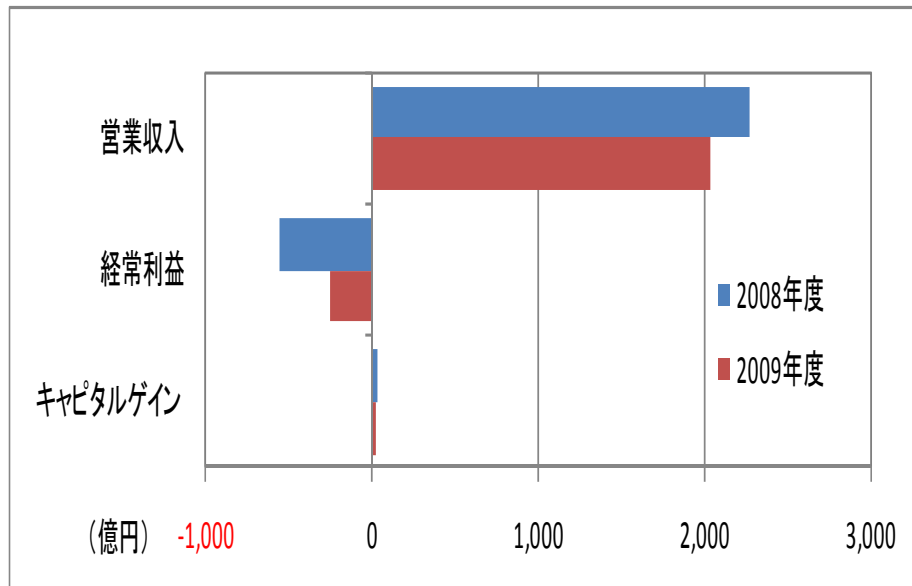


(出所: NVCA, VC Investment Q3'10-MoneyTree-National Data)

2. VC投資(3)

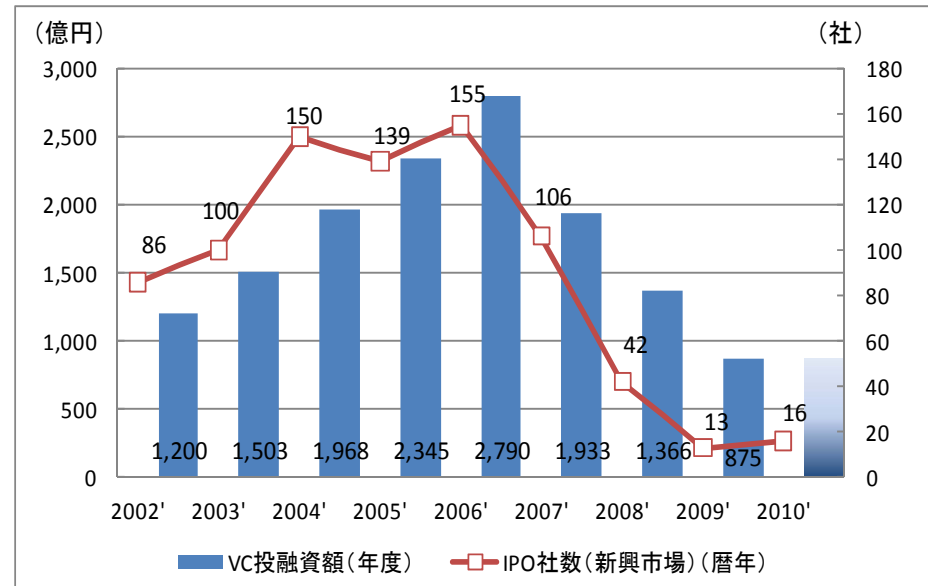
VC経営の状況

＜図表 7＞ VCの営業収益・キャピタルゲイン・経常利益2期



(出所: VEC2010年投資動向調査)

＜図表 8＞ VC投融資額と新興市場IPO社数



(出所: JVR調査・VEC各年投資動向調査)

3. ベンチャー企業

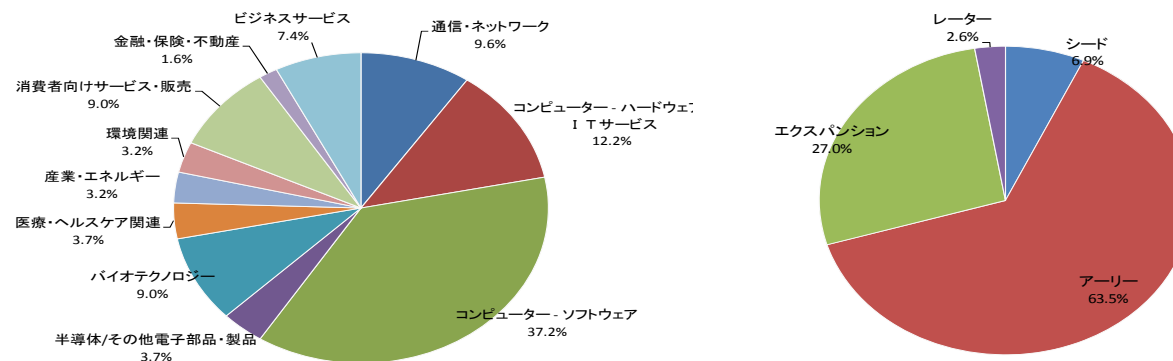
世界的な金融危機、マクロ経済の悪化の影響は川上から川下に水が流れるが如く、大企業から中小ベンチャー企業に向けて勢いを増して押し寄せている。荒波に揉まれるような経営環境下で、起業環境は悪化し、経営資源の確保に窮するベンチャー企業。しかしその中でも我が国ベンチャー企業が逞しく希望を失わず進路を探している姿があった。

VBアンケート集計結果

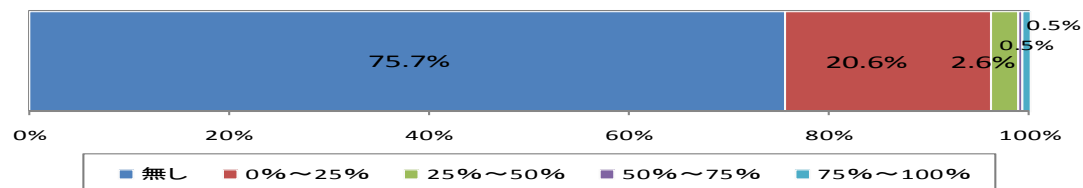
VECが2010年11月に行ったベンチャー企業へのアンケートの集計結果を以下に示す。アンケートは創業5年以内のベンチャー企業1212社へ送付、資金調達状況や業績見込み、事業計画、経営上の問題について質問した(回答率は16.5%)。

1. 回答者の状況

＜図9＞業種・ステージ分布(社数割合)



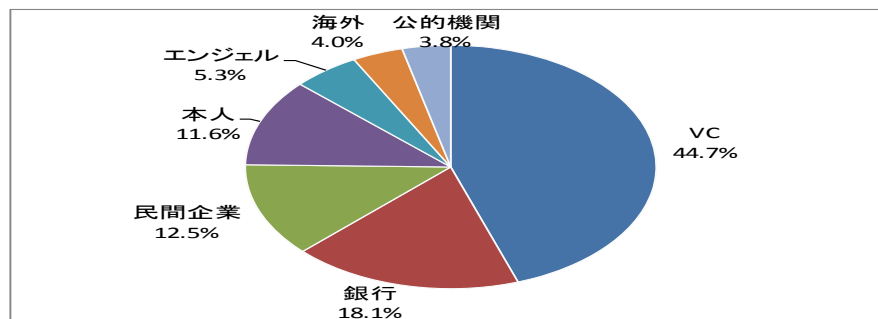
＜図10＞海外売上比率の状況(社数割合)



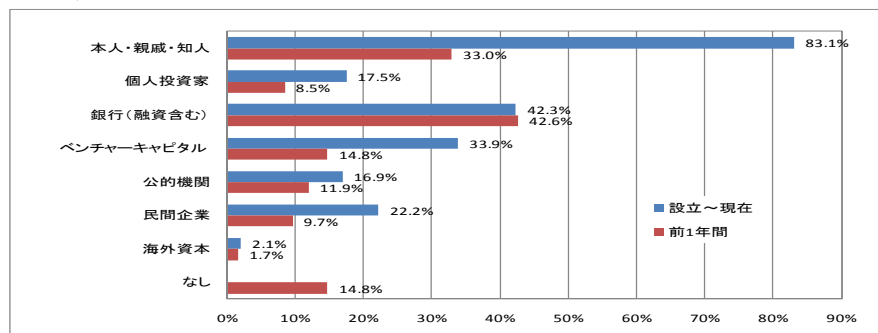
3. ベンチャー企業

2. 資金調達状況

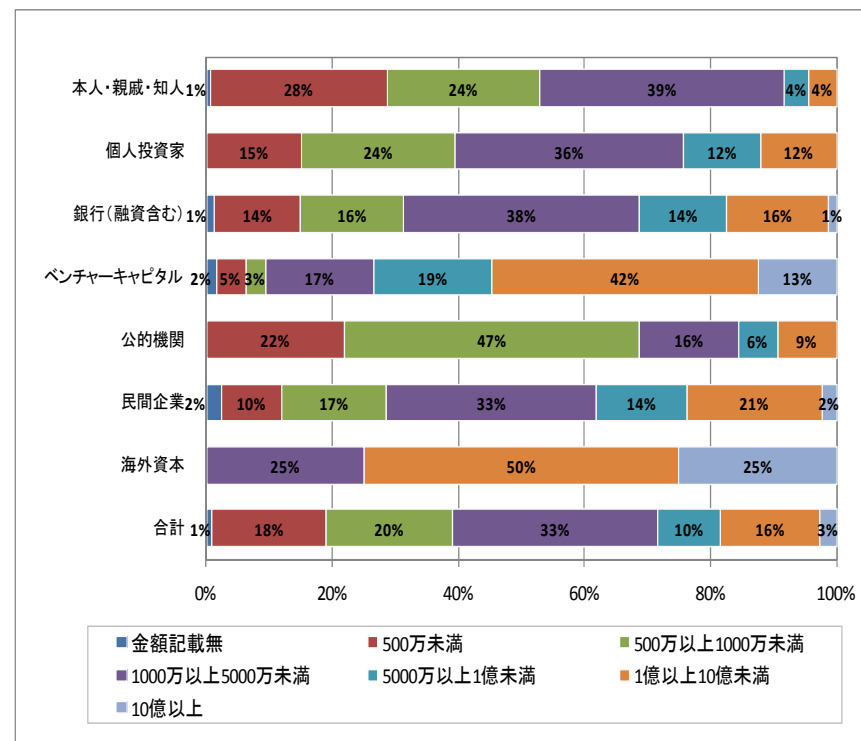
＜図表 11＞VBアンケート 設立来資金調達額の構成比



＜図表 12＞VBアンケート 資金調達元の社数割合

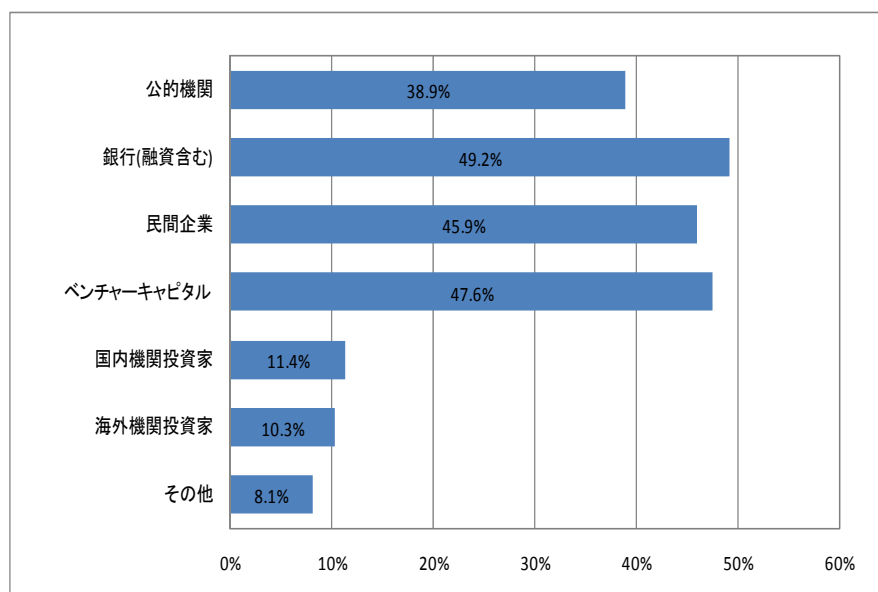


＜図 13＞会社設立以来の資金調達先の状況(価格帯による社数割合)

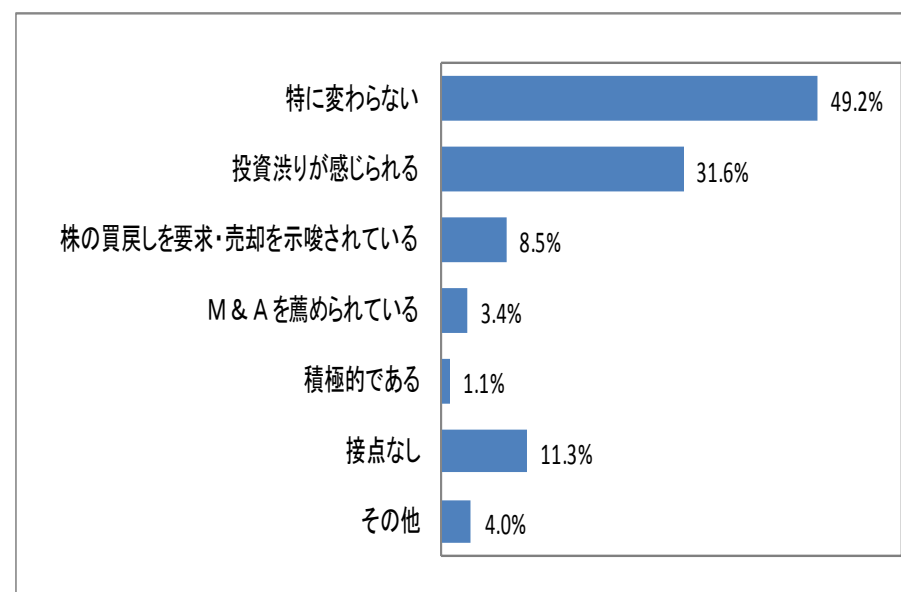


3. ベンチャー企業

＜図表14＞VBアンケート 今後の期待先



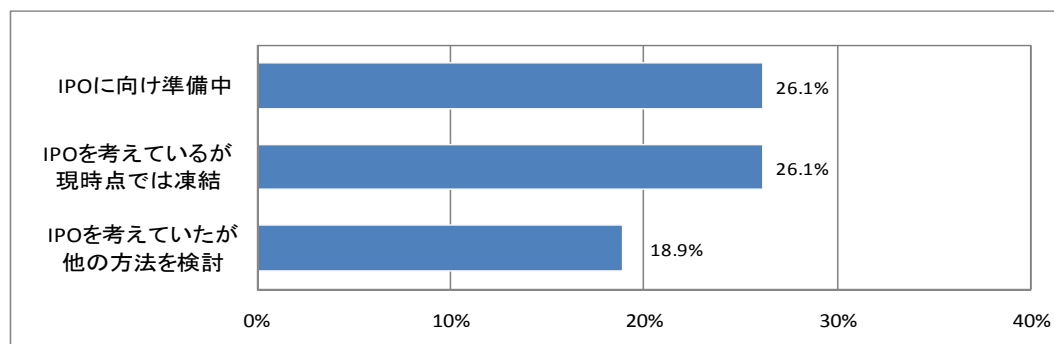
＜図表 15＞VBアンケート VC対応変化



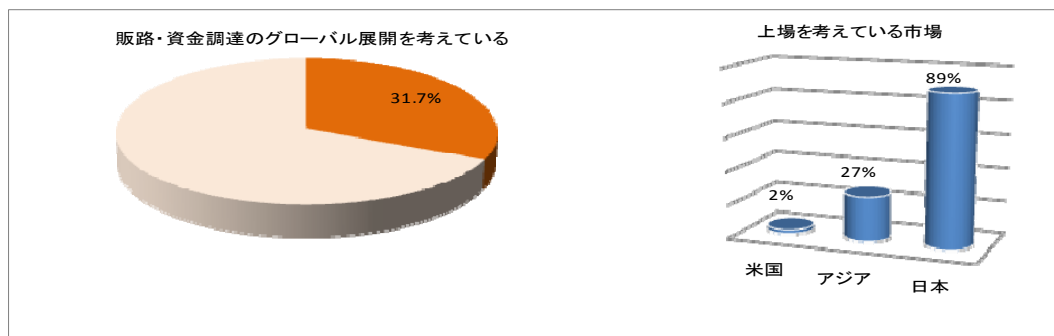
3. ベンチャー企業

3. 事業計画

＜図 16＞VBアンケート IPOに対する考え



＜図表17＞VBアンケート 海外展開

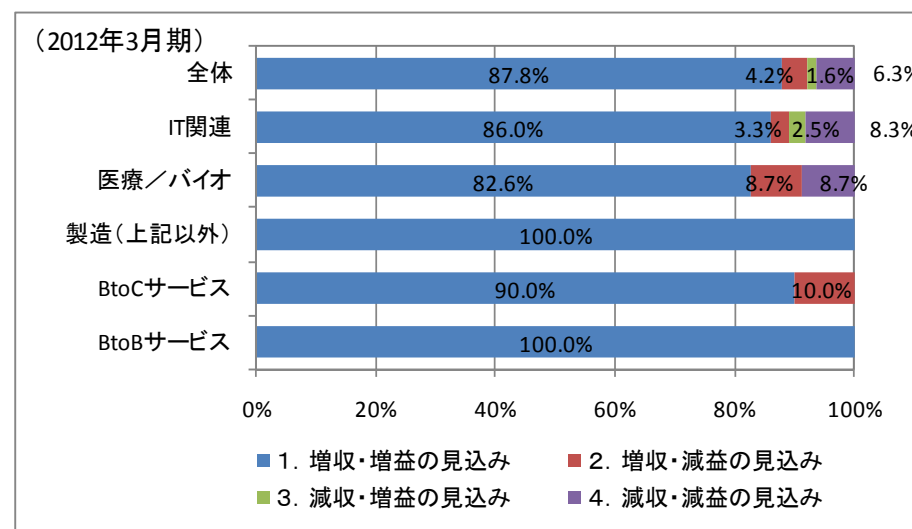
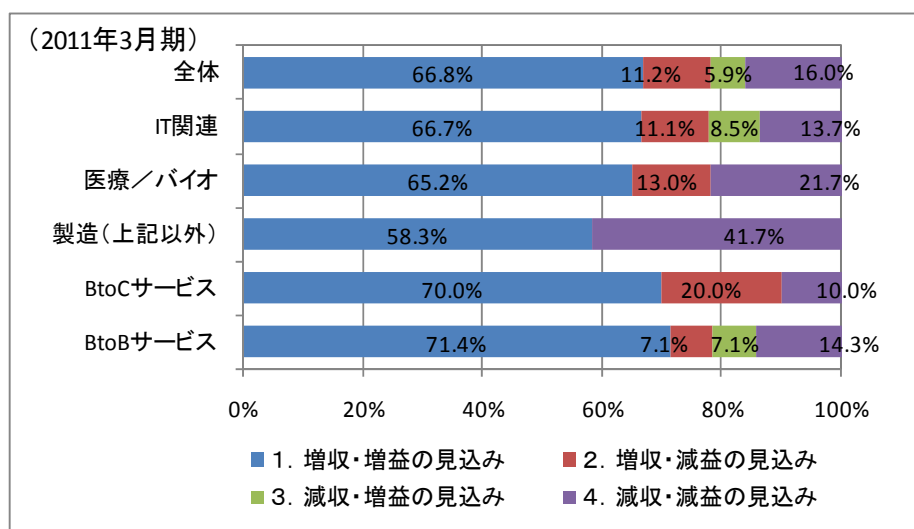


※「上場を考えている市場」は、前図でIPOに向け準備中と回答した者に対する割合

3. ベンチャー企業

4. 業績

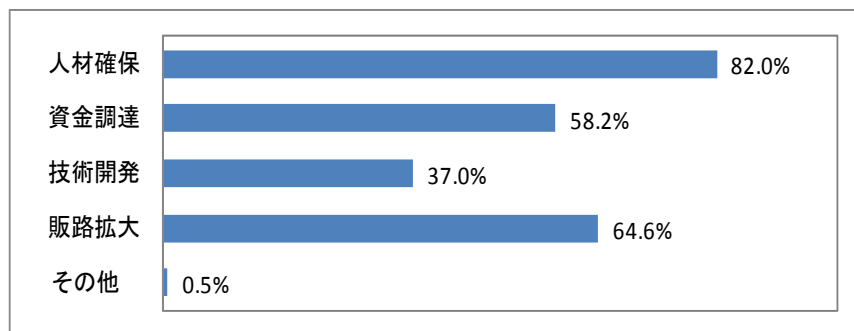
＜図表 18＞VBアンケート 業績見込み(2011年3月期・2012年3月期)



3. ベンチャー企業

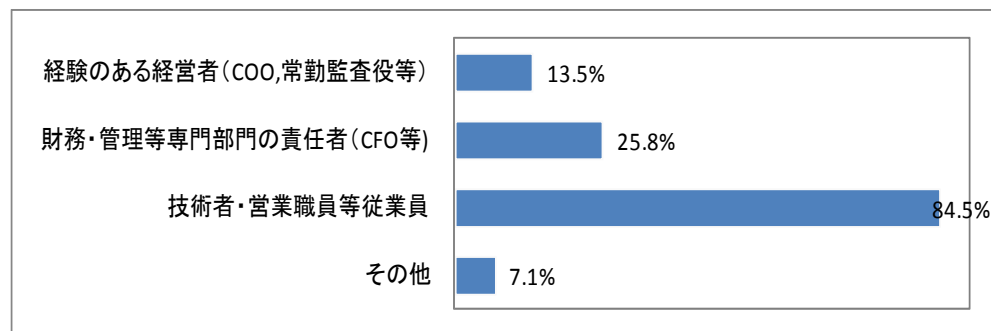
5. 経営上の問題点

＜図表19＞VBアンケート 経営ニーズ



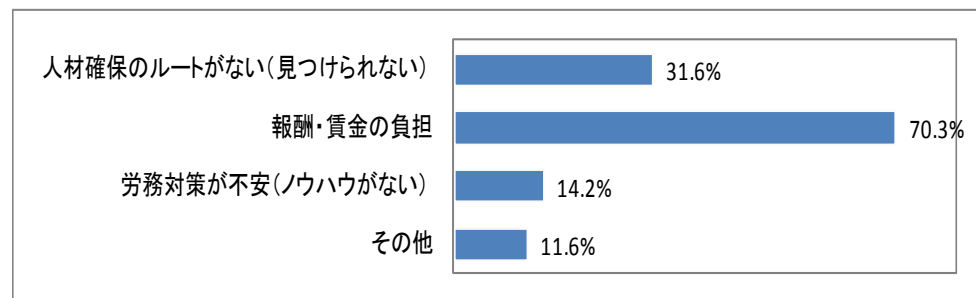
※その他には「海外展開」「商品開発」など

＜図 20＞VBアンケート 人材ニーズ



※その他には「前向きでチャレンジ精神のある人」「海外で通用する人」「研究部門のリーダー」など

＜図 21＞VBアンケート 人材確保上の問題点



※その他には「要求に合う人材がいない」「獲得費用が高い」「業績悪化時に解雇できない」など

Ⅱ. 我が国ベンチャービジネスの新境地は何処

• 1. 新産業創生に向けたVCの役割

- (1) オープン・イノベーション～自前主義からの脱却、買収事案
- (2) 我が国VC経営とビジネスモデル、日本のVCの将来は
 - ① アメリカ型VCキャッチアップは幻か？
 - ② ハンズオンのあり方とは
 - ③ 各VCの取り組み～VCインタビュー・識者の提言

• 2. VBの要望とその対応策～VBアンケート

未だ経営資源が十分でないベンチャー企業に取って満たされない経営ニーズは多数存在する。

- (人材確保ニーズ)
- (販路拡大ニーズ)
- (資金ニーズ)
- (法人税・社会保険料軽減)

• 3. 環境整備、その他支援策

- (新興株式市場)
- 海外市場との競争力確保
 - 既存市場、新興市場、グリーンシートの役割分担の整理
 - 統廃合による規模の拡大と運営効率化
- 投資家の信頼回復
 - 退場ルール・株価形成ルールの明確化と経済犯罪への罰則強化
 - アナリストレポート作成支援
- 新興企業上場時の負担軽減
 - 内部統制制度の簡素化
 - 上場審査の明確化と短期化(反社会的勢力・反市場勢力・遡及監査等)

• (起業家教育とベンチャーエコシステムの確立)

起業家に対する評価を高めることや起業家自体を増やすためには社会全体の価値観を安定・内向きから挑戦・外向きに変える必要がある。
このためには教育課程における起業家マインド育成が大切だが、時間のかかる課題であるだけに長期的に粘り強く取り組む覚悟を要する。
また、不幸にして失敗しても再チャレンジできるような社会的環境もベンチャーをめぐるエコシステム(生態系)には不可欠であろう。

ご清聴ありがとうございました。

- 本件に対するお問い合わせ
- (財)ベンチャーエンタープライズセンター
 - 業務部 前田
 - TEL: 03-5640-3155
 - URL: <http://www.vec.or.jp>
 - Email: vec@vec.or.jp